

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設の設工認に関する面談」

2. 日時：令和5年3月15日(水) 16時00分～17時20分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、清水係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理事業部副事業部長(設工認総括、新基準設計)

5. 要旨

日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)役員と、再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請の審査の進め方等に関して、以下のとおり面談を行った。

(1) 日本原燃から、主に以下の説明があった。

原子力規制庁(以下「規制庁」という。)と日本原燃でコミュニケーションを密にとり、進めている一方、日本原燃においては、規制庁の指摘の趣旨を理解できていないまま仕事を進めていることがあり、結果に繋がっていない。ロジックを立てて全体像を描くことができる検討部隊において、規制庁としっかり認識合わせをし、実行部隊にインプットをすることが重要であり、検討部隊を強化しようと考えている。

(2) 規制庁から、主に以下の点を伝えた。

日本原燃が言うことは規制庁側も感じており、このままではスムーズに審査を行うのは厳しいため、現状を改善するために分析し、方策を試行錯誤する必要がある。

6. その他

提出資料

なし